



通勤・通学・通院の足「鉄道」はどうなる？

市内を走る鉄道のうち、「JR室蘭線」(沿ノ端―岩見沢間)、「日高線」(苫小牧―鷗川間)については今後、鉄道事業者のみで維持していくことが難しいという考え方が示されました。

また、北海道の公共交通に関する会議においても、これらの路線は、地域による負担も含めた内容の検討や協議を進めながら、路線の維持に努めるという考え方が示されています。

今後は持続的な鉄道の維持存続のため、沿線自治体と連携しながら、利用促進など、鉄道の活性化に向けた取り組みが求められています。



利用者の減少が進む「バス」の現状

市内路線バスの利用者数は減少傾向であり、赤字路線が増え、現在の路線網や運行本数の確保が難しくなっています。

また、運行本数の減少により利便性が低下することで、ますます利用者が減少するなど、悪循環に陥る恐れがあります。

利便性や快適性の向上策、利用しやすい路線網への再編など、利用者目線で使いやすいバスを目指す取り組みが求められています。



ユニバーサルデザインタクシーの導入

市では障がい者や高齢者、子育て中の保護者、訪日外国人観光客など、誰もが安心して快適に利用できる交通環境を整備するため、ユニバーサルデザインタクシー導入支援事業を行っています。

現在、市内ではユニバーサルデザインタクシーが45台導入されており、利用者の方々からも好評をいただいています。



利用者の減少や事業者の乗務員不足、重複路線を抱える非効率な運行、JRの維持困難線区など、公共交通を取り巻くさまざまな課題に対応していく必要があります。

市ではこうした課題に対応するため、鉄道やバスの乗り継ぎ、待合環境の改善、バス路線網の再構築、ICT※を活用した利便性向上策、ユニバーサルデザインタクシー車両の導入など、効率的で利便性が高く、誰もが利用しやすい公共交通網の形成を目指していきます。

※ICT：IC乗車券システムなどを含む情報通信技術のこと



5月11日(日)／緑ヶ丘公園

緑ヶ丘公園まつり

晴れ渡る青空の下、第46回緑ヶ丘公園まつりが開催され、多くの人々が満開となった桜並木でお花見を楽しんでいました。会場のステージではさまざまなイベントが行われ、特別ゲストで来てくれたゆるキャラたちととまチヨップは相変わらず子どもたちに大人気でした。

表紙から

15 市からのお知らせ

福祉／暮らし／
催し・講座／
スポーツ／相談／募集

25 市政トピックス

児童センターに遊びに
来ませんか

26 みんなのひろば

今月の健康インフォメー
ション／
とまこまい日記／
編集後記 ほか